

平成 23 年 12 月 7 日

高知県病院薬剤師会 御中

徳島文理大学 香川薬学部
学部長 丸山 徳見

薬剤師を対象とした e-ラーニング「副作用診断教育プログラム」について（ご案内）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

徳島文理大学香川薬学部では、e-ラーニング「副作用診断教育プログラム」を、平成 20 年度から 22 年度の 3 年間にわたり文部科学省委託事業として実施して参りました。平成 23 年度からは徳島文理大学香川薬学部の生涯教育の一環として継続しております。

「副作用診断教育プログラム」とは、重篤副作用疾患に対し、薬剤師と臨床医の講義と演習トレーニングを通して、患者様の訴え、症状、患者様との問答等から副作用を推論する力を養うものです。インターネットによる e-ラーニング方式で、いつでもどこでも好きな時間に学ぶことができます。講義放映だけではなく、演習トレーニング、確認試験も準備されており、修了者には日本薬剤師研修センター受講単位（シール）をお渡ししております。

これまでに全国各地から受講いただき、受講者からは非常に高い評価を得ております。貴県の薬剤師の皆様にも是非ご受講いただきたく、リーフレットを同封の上ご案内致します。日程・講義内容等の詳細につきましては、本プログラムのホームページ <https://kp.manabinaoshi.jp/> をご覧いただきたく存じます。

多くの皆様にご利用いただけますよう取り組む所存です。

e-ラーニング「副作用診断教育プログラム」を皆様にご受講いただけますれば幸甚に存じます。

謹白

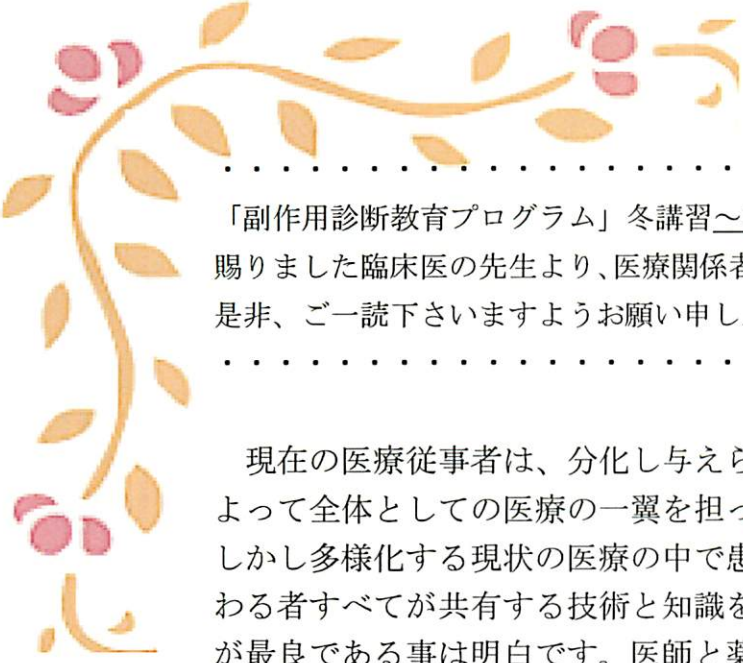
問合せ先：徳島文理大学香川薬学部

生涯学習委員会 飯原なおみ

〒769-2193 香川県さぬき市志度 1314-1

TEL 087-894-5111（内線 6228）

E-mail manabi@kph.bunri-u.ac.jp



.....

「副作用診断教育プログラム」冬講習～呼吸器症状から見る副作用疾患～ご講義
賜りました臨床医の先生より、医療関係者の皆様へメッセージをいただきました。
是非、ご一読下さいますようお願い申し上げます。

.....

現在の医療従事者は、分化し与えられたそれぞれの責務を果たすことによつて全体としての医療の一翼を担っているのだと考えられてきました。しかし多様化する現状の医療の中で患者さんを中心に考えれば医療にかかわる者すべてが共有する技術と知識を持ち、患者さんのために尽くすことが最良である事は明白です。医師と薬剤師と看護師は、与えられた業務のために受けてきた教育は様々です。皆さんお持ちの専門的知識には違いがあります。しかし患者さんの健康のためにあらゆる職種の方がそれぞれの立場から患者さんをよく診てよく訴えに耳を傾けることはすべての医療者にできることです。

薬剤の副作用は個々の患者さんによつて出現の仕方が違うのですから、患者さん一人一人について学ばなければいけません。つまり副作用は患者さんに学ぶということです。ですから医師のみが診察を行い判断して治療方針を決めるのではなく、あらゆる職種の方が知識に裏打ちされた観察力を研ぎ澄ませて患者さん一人一人に向かい合うことがもっとも重要だと思います。その意味で薬局の皆さんは患者さんに起こる副作用について一番重要な最前線のアンテナだと思うのです。医療従事者は医師の治療を支えるのではなく患者さんの健康を皆が等しく責任を持って支えているのです。目の前の患者さんが何の病気を持ち、どんな治療を受け、どんな薬を服用してどう病状が変わっていつているかを正確に判断する、あるいは判断しようとする意識を持つことが薬剤副作用早期発見には最も大切なことだと思うのです。

「副作用は患者さんに学ぶ」私の尊敬する恩師の言葉です。この目標を達成するために今日のお話が少しでも皆さんのお役にたてば幸いです。

亀井内科・呼吸器科医院院長 亀井 雅



H23冬講習
3月16日まで
申込み
受付中

リスクマネージャとしての薬剤師を養成する 「副作用診断教育プログラム」



自宅受講型遠隔講義(e-ラーニング)

副作用のない医薬品は存在しない。 副作用の推論力を培うためのプログラム

「この症状って副作用？」との質問に答えられますか？

申込期間

11月14日～3月16日

申込先

<https://kp.manabinaoshi.jp/>

開講期間

1月6日～4月6日

受講料

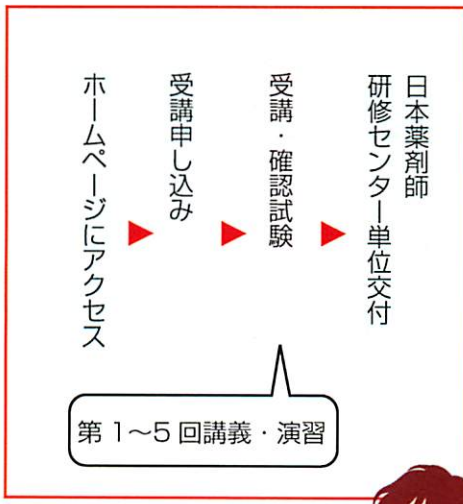
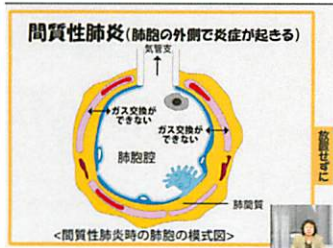
副作用診断講義コース 各 3500円
ベーシックレクチャーコース 各 1000円

副作用診断講義

一つの症例に着目し、前半では薬剤師が発生機序や原因薬剤などについて詳しく解説を行い、後半では臨床医が具体的な症例を基に、診断プロセスや薬剤師へのアドバイスなどについて講義を行います。医師と薬剤師が各々の視点で薬の副作用疾患について解説することで、薬の副作用についての理解を深め、推論力を養います。

ベーシックレクチャ

臨床医が医学的基礎知識の解説を行います。



受講者の声

- 1 自分のペースにあわせて学習でき良かった。このプログラムは真に働く上でありがちな副作用を的確に講義。脳の片隅にストックしておくことの大事さを初心に戻って教えてくれる教材だった。
- 2 基本的事項の再確認ができ満足度は高い。
- 3 副作用をなにも理解していないことに気づかされた。とても勉強になった。

問合せ先

徳島文理大学香川薬学部
eメール：manabi@kph.bunri-u.ac.jp
電話：087-894-5111(内線6225・濱田)

副作用診断講義コース

副作用診断講義 A

- 第1回 副作用の分類と発生機序
- 第2～4回 重篤な副作用疾患の解説
 - ステイアプルス・ジョンソン症候群
 - 横紋筋融解症
 - 間質性肺炎
- 第5回 臨床医が語る副作用症例
 - 中毒性表皮壊死症など

副作用診断講義 B

- 第1回 副作用・感染症報告制度、医薬品副作用被害救済制度など
- 第2～4回 重篤な副作用疾患の解説
 - 無顆粒球症
 - 消化性潰瘍
 - アナフィラキシー
- 第5回 臨床医が語る副作用症例
 - 消化器症状からみる副作用症例 (偽膜性大腸炎、消化性潰瘍、麻痺性イレウス)

副作用診断講義 C

- 第1回 副作用と臨床検査
- 第2～4回 重篤な副作用疾患の解説
 - 急性腎不全
 - 尿閉・排尿困難
 - 薬剤性パーキンソンズム
- 第5回 臨床医が語る副作用症例
 - 眼症状からみる副作用症例：緑内障、網膜・視路障害など

副作用診断講義 D

- 第1回 副作用と病理組織
- 第2～4回 重篤な副作用疾患の解説
 - 偽アルドステロン症
 - うっ血性心不全
 - 急性肺炎
- 第5回 臨床医が語る副作用症例
 - 血液所見からみる副作用症例について—副作用疾患の推論—

副作用診断講義 E

NEW!

- 第1回 副作用推論とその実際
- 第2～4回 重篤な副作用疾患の解説
 - 難聴
 - 重度の下痢
 - ジスキネジア
- 第5回 臨床医が語る副作用症例
 - 呼吸器症状から見る副作用疾患

ベーシックレクチャーコース

ベーシックレクチャ I

- バイタルサインとは
- 画像診断のいろは
- 癌の手術におけるリンパ節の意味
- 副作用用語として使用する MedDRA とは

ベーシックレクチャ II

- 皮疹の診かた
- 超音波診断のいろは
- コミュニケーションの心得とスキル
- 感染症のいろは